

令和4年7月15日

令和4年度大豆生育定期調査結果（北上市 7月6日調査 出芽・生育）

岩手県農業研究センター生産基盤研究部水田利用研究室

TEL：0197-68-4412、FAX：0197-71-1081

1 気象経過（図1）

気温は、6月第1から第3半旬は平年より低く推移し、第4半旬以後は高く推移した。
日照時間は、6月第1、第2、第6半旬は平年より寡照で、それ以外は平年を上回った。
降水量は、第1・第2、第6半旬は平年を上回ったが、それ以外は平年よりも少なかった。
7月第1半旬は気温及び日照時間が平年を大きく上回った（北上アメダス値）。
※岩手県を含む東北地方梅雨入り：6月15日（平年並で、昨年よりも4日早い）

2 栽培条件

- (1) 調査場所 農業研究センター：北上市成田 標高90m
- (2) 土壌条件 農業研究センター：淡色多湿黒ボク土（水田転換1年目）
- (3) 種子消毒：クルーザーMAXXの塗沫処理
- (4) 播種日、栽植密度及び播種粒数：6月6日、9.52株/㎡、2粒播き（出芽後1本立てに間引き・補植）
- (5) 施肥量（基肥） N:4kg/10a、P₂O₅:12kg/10a、K₂O:10kg/10a、堆肥2t/10a

3 生育概況（表1）

(1) 出芽

播種から出芽期までの日数(出芽日数)は、3品種とも過去5か年平均（以下、平年と表記）と比べて4日早まった。播種後の適度な降雨により、出芽が早まった要因と考えられる。

(2) 生育

6月第4半旬からの高温・多照の影響により生育は3品種とも旺盛で、平年に比べ、主茎長は3.7～4.6cm長く、主茎節数は2.0～2.3節多くなっている。

また、葉面積指数は平年差+0.090～0.164と高く、地上部乾物重は平年比164～198%重く、生育は平年を上回っている。

4 生育調査結果

表1 播種30日後（7月6日）の生育調査結果

品種	年次	出芽日数 (日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	葉面積指数*2 (LAI)	地上部乾物重 (g/㎡)
ナンプシロメ	令和4年	6	15.6	7.0	0.242	12.3
	過去5か年平均*1	10	11.7	5.0	0.152	7.5
	差・比	-4	3.9	2.0	0.090	164%
リュウホウ	令和4年	7	12.8	7.1	0.240	14.5
	過去5か年平均	11	9.1	4.8	0.144	7.9
	差・比	-4	3.7	2.3	0.096	184%
シュウリュウ	令和4年	7	14.1	7.1	0.359	19.0
	過去5か年平均	11	9.5	4.9	0.195	9.6
	差・比	-4	4.6	2.2	0.164	198%

*1：過去5か年はH29年～R3年のデータ。

*2：葉面積指数はある栽培面積に存在する葉の総面積をその土地面積で割ったもの。

5 半旬別気象経過図

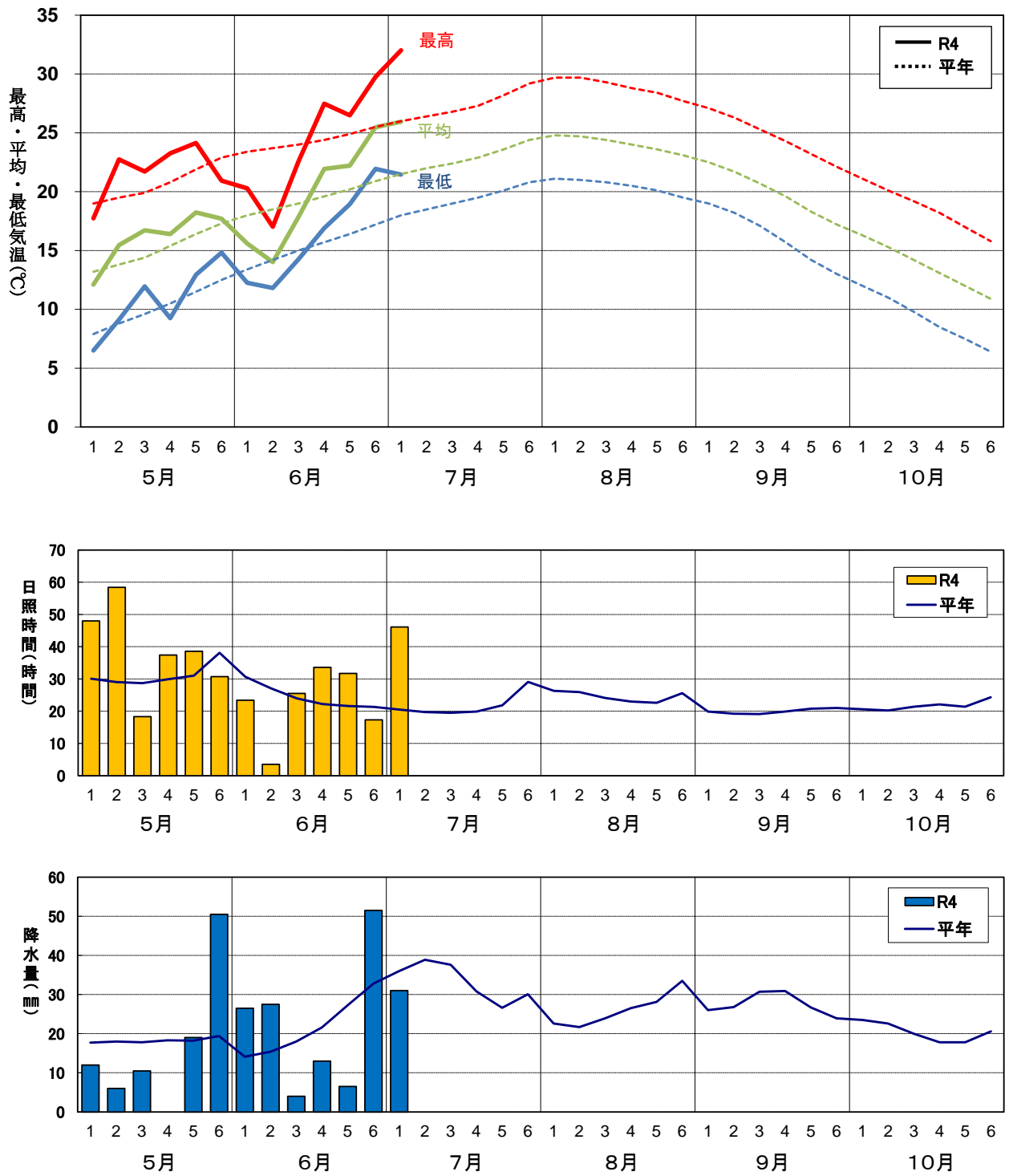


図1 気象経過図 (アメダス北上)